

顎の弛緩した

筋組織

緩んだ筋肉の筋

パスタが茹で上がってほぐれたみたい
に茹で上がった筋組織が

真下に垂れていく

真夏の顎

季節は真夏の顎

顎の

アイスクリームチョココメントが

とつけてポタポタ垂れてかたも溶けて
背中も溶けて顎と顎の隙間からのぞい
ている

舌先

はあはあと犬がはあはあ安全な怖い犬が

ちらつく前の湿った空間をナメクジが
通った跡を拭っていく「はあはあはア
ハアハあはあはあはあはあはあはアハ
アハあはあはあはあはあはあはアハハ
あはあはあはあはあはあはあはあはあは
こうとアイスクリームチョコミント味
の歯磨き粉を溜飲した子供が歯医者に
見せようと口の中をかけていくのを放
ったすらに背中がわの圧倒的な
圧倒的な重さが

スクリーンに向かって迫り出していく

圧倒的な

圧倒8的な重さが

お一旦〇下に真下に重さを落としていく骨盤足をとおて重さを落として反射した重さがアルデンテの湯で県」おパスタ

の芯を通って重さが真上に抜けていく
タイピングスピードの圧倒的文明の
スピードで船がやってきて身体ごと運び去っていくのをやめないよう〇にキラサラ犬硫黄に硫黄島の香りが〇なを
ついて鼻腔をくすぐる速度がゆっくり

に浸透していくを肩の破片が崩れて下に散らばる背中
の破片が元元というあうえ破片だらけの足も音足元

破片が刺さって痛いから脚がステップを踏み出す足の裏に床下の探りを入れるために9番をつけてゆつくりと身体の内側の内臓へきに描かれた文字を読むにくために斥候を一人飲み込んで喉から溜飲していく食堂を胃を通ってゆつくり溜飲していく内臓の調査隊が何かを見つけて内臓壁の壁画の文字を読んでいくと身体が密談を始めて左腕が謀反を起こしてのほ反響音が響いてい

く右腕は止める役割を放棄して

腸から届くラブレターを全身に毒物を
飲み込むように飲んでいくと目玉を裏
返してせつし36・5度の血の塊の中
身を探りに入れて暑い汗ばんだ汗が一
滴首筋を流れ手河川を作り川が足から
流れていって床が日水浸しになってい
くので猫が喜んで猫が踊り出す猫ダン
ス

床に落ちたさつき落とした破片を拾お
うとしやがんで目が合う

かれないなステップが

海底で泳いでいるたいのアクアパッツ

のあが魚たちの踊り髪の手がわかめの
増えるわかめの物理法則を無視した増
え方には困っているとははがいつてい
るのを聞く耳が蝸牛の奥の蛇がウロウ
ロウロしていくスピードにはついてい
けぬとわかめがコンビニで帰るなんだ
ってコンビニで買えるから逆に何も買
えない貨幣価値の無碍にされたこの指
先

の祖先がせっかく盗んできた日を火を
放って放たれた火が燃え上がって背中
がわに無言で燃えている草原に燃えて
いる

広がっている膝が静かに燃えているのが見えるかすねげの一本一本が動いているので足が意思を個別に持つてタコのように改定を進んでさつきあつたカレイのステップとダンスをしようとして断られて指先で振動を送る奥歯が振動している横揺れ縦揺れ

噛み砕こうにも砕けずにPはもS

はも観測できないまま俺は指は指でダンスするはむしろ指からダンスする派閥があつたら入ろうと思う踊りたくない人が踊る方法は指で踊る方法う

重さがしたから突き上げて天↑葉を⌘
天井を支える柱が鉄製でできた肘が柱
のて代わり鉄の肘で寝返りをう⌘鉄の
肘
で

肘を鉄に

鉄についた肘で

振動を重ねて身体のあちちを伝えてい
くのは誰の役割かシンバルの音が病ん
でいくうちに斥候が一人背中に丘を作
って兵隊の大群を連れていく腸内へき
がが見つかつたと喜んだ一軍がサバン
ナをかけていく動物の群れのように身

体の周りの文字を食べーっよようと踊
っていくのを身体の周りのルーン文字
が読めなくて顎が揺れる神が揺れる

腹が揺れるタワシが揺れる目が揺れる
ヘソが揺れる天井が揺れるアバギが揺
れるキーマカレーが揺れる指が揺れる
スマホが揺れるスクリーンが揺れるお
金が揺れる

いじの力を抜けよという声が揺れる
波ーこんが揺れる指の指示をまもつ
らない身体がうう々ゆ」猫が揺れる犬
お揺れる魚が揺れる

肋の間に湖があつたことを思い出した

からその水をこぼさないように運ばなければならぬ一滴も残らずに流れた湖の渦に巻き込まれた筋肉たちが螺旋状のダンスパーティーに巻き込まれたくない眉毛が痙攣と歯向かう身体の世界大戦に右腕の戦闘機が飛んでいく

9の一爆撃で焼けた街の中で
祖父か

腸内に描かれたびっしりの文
字群を引っ張り上げるための穴はど
こ？もう塞がっているのかあの小穴か
らは隣の世界の何かが見えたというの
にそこにロープを垂らして s a g a t
t e i k u

びっしりと曰っ
つつつつつつ
つつつつつつ
つつつつつつ
つつつつつつ
しりと繋がれ
ていく体壁

壁を登って向こうに逃げる体をもう負
わなくていいいろんな象形文字が浮か

び上がっては消えていくことがダンス
なのかと書き記されている書物の文字
を残らず食べなければダンスの先生は
許してくれないというポリス的拘束か
らの闘争を逃走を図っていく子供がカ
カテイク平原をどこまでも向かってか
けていく逃げていく